

2021 年度 豊岡市障害者自立支援協議会 運営会議 報告資料

1 豊岡市障害者自立支援協議会研修会について

日 時：2022 年 2 月 11 日（金・祝） 13 時 30 分～16 時 オンライン開催

内 容： 講演 （52 名参加）

講師：同志社大学 社会学部社会福祉学科 ^{くがひろと} 空閑浩人教授

演題：「価値と倫理」に根ざした社会福祉の支援を考える

～障害福祉事業の「大切」を共有して、やりがいをもって働き続ける仲間
と職場をつくるために～

2 研修後のアンケート集計

(1) 講演内容

たいへんよかった (66.7%)、よかった (31.1%)、どちらでもない (2.2%)

(2) 研修の成果

役に立つ (83%)、少し役に立つ (17%)

(3) 今後の研修についての希望（複数可） 上位 5 項目

対人援助技術 (40.9%)、障害者との関係構築 (36.4%)、障害特性 (34.1%)、
意思決定支援 (27.3%)、個別支援計画とケース会議 (20.5%)

(4) 研修全体の感想・意見

- ・たいへん理解しやすい研修で、自身の支援のあり方を振り返るととても良い機会だった。
- ・参加できなかった他の職員へも聞いてほしい内容だと思った。
- ・支援者として大切なこと、忘れてはいけないことなど再認識した。
- ・自分自身学び続ける姿勢を持ち続け、明日からの仕事をがんばろうと思う。
- ・しっかり話し合い、検討し合える支援者の 1 人になりたい。

(5) 地域の課題と感じていること

- ・社会資源、地域の連携など情報共有の機会が少ないように思う。
- ・他事業所の方と、もっと意見交換をできる場があればと思う。
- ・事業所内の関係だけだと、職員の気づきの機会が少ないように感じる。
- ・障害者の就労に関して、企業に対し障害特性を理解して頂けるような働きかけができればと思う。通勤のための公共交通機関の充実も必須である。
- ・家族、近所・地域の方も特別な目で見ないような環境を作っていくことが必要である。
- ・地域の方々に、障害者への理解をしてもらう機会がない。地域の人たちと出会う機会が少ない。
- ・支援者の数が、慢性的に不足している。
- ・65 歳を超えた方の支援ができる施設・住まいの場が少ない。